

目次 contents

4 ● JBBY/IBBYニュース&イベント ●

2020年国際アンデルセン賞候補者決定
「2019年IBBY選定バリアフリー児童図書」決定
JBBY 新・編集者講座第4期 第1回
JBBY 希望プロジェクト・学びの会 第3回
世界の子どもの本展2018(大阪・沖縄・長崎)
講演会「世界の子どもと本を考える」
JBBY活動報告(2018年10月~12月)
JBBYこれからの予定(2019年1月~3月)
IBBYニュース
理事会報告(2018年10月~12月)
子どもの本で多文化理解㊟ ギリシャ編 百々佑利子(児童文学者・翻訳)

12 ● 角野栄子さん「国際アンデルセン賞」受賞 おめでとう特別企画 ●

12 国際アンデルセン賞に角野栄子さんを推薦する
野上暁(国際アンデルセン賞国内選考委員)
14 祝辞 パトリシア・アルダナ(国際選考委員長)
15 角野栄子さん受賞スピーチ
20 「JBBYのみなさんへ」
イーゴリ・オレイニコフ
(2018年国際アンデルセン賞画家賞受賞)
21 角野栄子さんを追いかけて！
22 IBBYの本棚・番外編 角野さんのビブリオグラフィ

<表紙>

垂石眞子(たるいしまこ)

神奈川県茅ヶ崎市出身。湘南の海を見て育つ。多摩美術大学卒業。様々な画材を使って、子どもの本を数多く出版している。主な絵本に『ぼくしごとにくんだ』(作/角野栄子)『きのみのかき』『あいうえおおきなだいふくだ』(以上、福音館書店)、『角野栄子のちいさなどうわたち3』(作:角野栄子/ポプラ社)『ライオンとぼく』(偕成社)、『おかあさんのおべんとう』(童心社)『ぞくぞく村のおばけシリーズ』(文:末吉暁子/あかね書房)など。JBBY理事。



世界の子もたち —— 中国
11月に訪れた上海国際児童図書展の会場
で角野さんとキキに扮した女の子
撮影:シーナ・タノ

*今号は特別企画のため編集後記はお休みします。

『Book & Bread』とは

JBBYの会報『Book & Bread』(ブックアンドブレッド)という誌名は、2002年に開催されたIBBY創立50周年記念大会で、IBBY朝日国際児童図書普及賞を受賞したアルゼンチンのベッーリ氏の受賞スピーチに由来します。ベッーリ氏は、「子どもたちにはパンと同時に本が必要です」と訴えました。人間とは何か? 人はなぜ生きるのか? ということを考え始める子どもたちに本を届ける役割の大切さを意味しています。この言葉の意味とJBBYの活動を、会員や一般の皆さんに広く伝えたいと、2010年の会報リニューアルの機に、JBBYの会報誌名としました。

